

月報

岡崎の教育

12月号

昭和57年12月1日

編集/発行

岡崎市教育委員会

一人ひとりの個性をもった四十余人。一つの集団となつてはや二学期も半ば。

新たな前進。

紅葉輝く学園に歌声は響く。

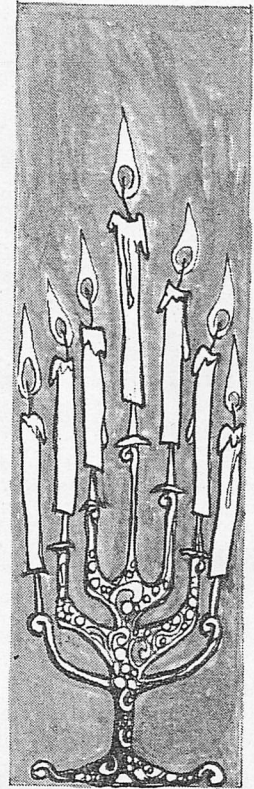
伝統を誇る校内音楽会・文化祭にむけ、学級の和が増していく。

「広げよう歌の輪、育てよう友情」のスローガンの下、葵の若人は、今高きはばたいている。



(広げよう歌の輪 育てよう友情—葵中)

—教育随想—



「藤の実」のおしえ

渡辺 寛

岡崎市芸術祭参加の岡崎合唱連盟合唱祭を十月七日鑑賞させていただきました。八グループのいずれの皆さん、歌が好き、歌うことが好き。そのうえ、一生懸命さが何かを掴んでいることの滲み出た美しいハーモニーで、気持ちの良い一時でした。「好きでなければ」と感心しながら、私の好きな寺田寅彦の「昭和七年十二月十三日の夕方帰宅して、居間の机の前へすわると同時に、びしょという音がして何か座右の障子にぶつかるものがある」で始まる「藤の実」を思い出しました。この作品は寺田先生が地震のエネルギーを研究されている時のものです。

椿の花、銀杏の葉の落ちる様と藤豆の猛烈な勢いでのほしげ・地震群の発生とは、相反する現象で、それぞれの持っているエネルギーが第二者は減少してある量を下回り、後二者は増加してある量以上に

蓄積された場合に起きる。このある量という存在が突然に一斉に変化を生むわけで、自然現象は普通の連続的変化と、蓄積すなわち潜在エネルギーの増減にとまらぬ不連続的に突然の変化をすること、を教示されていますが、文章の中身の含蓄の深さに敬服します。

合唱団の皆さんの何かを掴んでの好きというのは、練習により潜在エネルギーがある量を上回っての實力と思われるし、教育現場においても、潜在エネルギーの増減と不連続変化とは注目すべき現象と思われまます。

学習の場において、その学習量に比例して学力が連続的に上下する場合と、数など時として見られる変化のない状態の続いた後に、急激に極端な上下があるカタストロフィー的变化の場合とがあり、後者の指導が大切かと思えます。

いま子供が潜在エネルギーすなわち潜在学力の増加・減少の時期であるとの正確な見つけ出しは難かしいことであると同時に最も重要です。

子供の潜在学力の増加している時は力づけながらジャンプ、アップを待たせないのでしようが、増加があると同時により減少が多く、トータル的には減少状態で蓄積されている学力で現在に対処し、一応の成績を維持している時、これの発見と適切な指導がないと危険です。さもないと、ある日突然に持ちこたえられず落ち込んでしまい、これが挽回は容易でなく、本人は焦り、自信の喪失となり、性行にも問題を生じ易くなります。本人の現状と正確なこの現象の把握がまず初めでしょう。子供一人一人の微妙な動きに気づくことが大切だと思います。

生活指導においても、ある量以上の指導エネルギーの注入がなければ効果は現れませんし、ある量とはその集団・個人により場所・形・注入速度および量を異にしますから、よくよくの見極めが必要でしょう。

学習指導・生活指導のいずれの場合にも、効果が現れ出しても成果となるまでには、銀杏の葉の落ちるように、何回もの不連続現象が繰り返されねばなりません。また即効性がないため往々にして無駄な指導エネルギーを費しがちです。

今後一層不連続現象の指導法の研究が必要かと思えます。

(岡崎北高校長)



古き美しき都

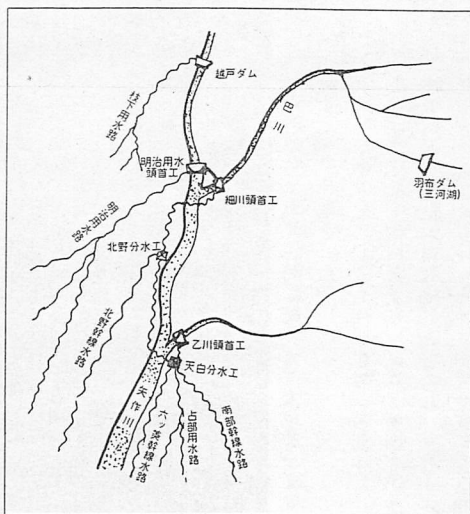
三科 嘉夫

ハンブルグに朝六時到着、さっそく空港トイレに入ったとたん婦人が使用料を請求、こんな早くこれにはまいった。

オックスフォード大学を過ぎ、シェイクスピア生家ストラッドフォードに着く。ここを起点として彼が文学にその生涯をかけたロンドン、ベローナ、ベニスなどの地を見聞でき、一生の思い出となった。テムズ河とロンドン、セーヌ河とパリ、水の都ベニス、これらの光景は水面に映る建物が異様にまで美しくコントラストされ、どこから眺めても絵の材料となる。

大英博物館、ルーブル、フロレンス、ベニスの各博物館、美術館の作品、偉大な教会やローマ・ギリシアの遺跡が、古代より永遠に生き続けており、私たちを迎えてくれた。

自然の神秘と美しさに包まれるモンブラン、連なる針のようなマッターホルンの山々もその雄姿を表してくれた。「日本円で千円、三か月月賦」だれが教えた



—ふるさとの山河—

矢作川 (9)

ダムと頭首工

矢作川の利水は、舟運・水車紡・農業用水に始まって、発電・上水・工業用水と年々増加し、その使用比率も大きく変化している。流域内の地下水は、生活用水工業用水として多量に汲み上げられ、地盤沈下の原因となっている。そのため、水源転換が図られ、河川水への依存は強まっている。

矢作川には、かつて、二十八か所の取水口があったが、渇水期には、流域内の田畑を十分にかんがいすることができなかった。その水不足を解決するために、昭和三十八年に巴川上流、下山村に羽布ダムが建設された。

昭和三十五年以降、高度成長期の建設ブームによる矢作川の砂採取等により、河床低下を生じ、取水不能になる取水口がでてきた。そこで、昭和四十三年、巴川河口に細川頭首工を建設し、一括して

取水し、幹線水路を造り各用水路に連結した。細川頭首工では、羽布ダムから流れてくる巴川の水と明治用水頭首工から一、五キロの地下導水路とによって、取水した水を貯水している。この水は、細川幹線水路からサイホンで矢作川の下をくぐり、右岸に出て南下し、各地域で利用されている。

乙川の河口には乙川頭首工がある。この堰堤で貯水された水は、六ッ美幹線水路を通り、西尾方面までを潤している。取配水量は、細川頭首工にある管理事務所、の遠方監視制御装置によりコントロールされている。

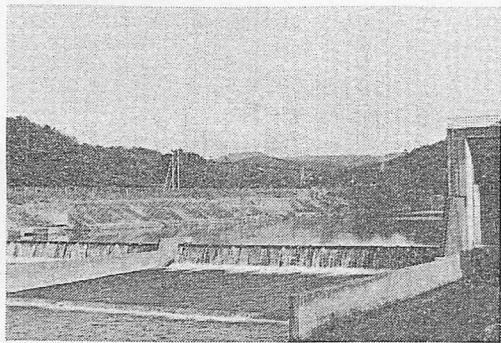
昭和三十五年ごろから、豊田、岡崎、刈谷市を中心に自動車工業が主となって内陸工業、衣浦臨海工業地域が形成され、工業用水と生活用水の需要が急増した。そこで、洪水対策と新規用水計画、そ

れに発電事業を合わせもつ矢作ダムが、昭和四十六年に上流に建設された。その結果、矢作川の水は、さらに計画的・効果的に利用されるようになった。

しかし、矢作川流域開発研究会(会長伊藤郷平愛教大名誉教授)の調査では利水可能量は十二、七億トンで、昭和六十年には西三河地方の需要量は十三億トンになり、水不足になることが予測されている。そのため、現在、二つのダム建設計画がある。その一つの河口堰は矢作川河口から一、五キロ上流に建設中であり、もう一つの巴川ダムは計画中である。

このように迫りくる水不足に対する方策が講じられているが、わたしたち、矢作川流域の百万住民も水消費のあり方を真剣に考えていく必要がある。

(岩津中 篠田英昭)



細川頭首工

のかイタリアの商人が陽気に日本人に呼びかける。「もう一度行きたい。」が先生方の思いだ。(河合中)

早寝の旅

村上博子

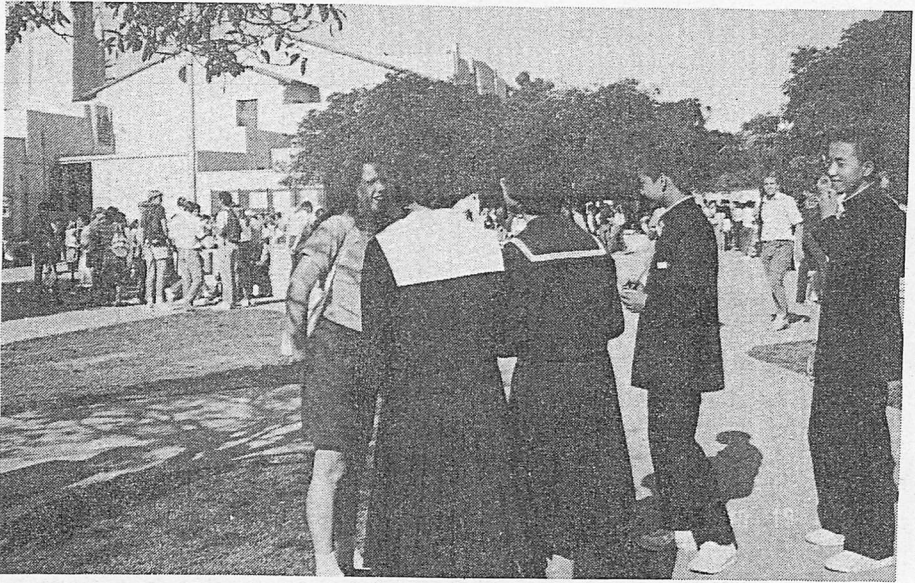
中国は個人旅行を許可していないため、団体で北京を旅することにした。

北京空港に夜九時に到着。マイクロバスで、北京市街へ猛スピードで直行。車は非常に少なく自転車ばかり。道路の街路灯の下では、男の人たちが集まっている。警笛を鳴らしても、全く退く気配なし。娯楽がないため、夜になると、集まって将棋まがいのことをするのだそうだ。娯楽がないというのは、つまらないもので、喫茶店はなし、ホテルの屋上に上がっても夜景はなし、となれば、早く眠るだけである。

中国旅行での一番の心配は、トイレである。ホテルのトイレは日本と変わりない。しかし、一旦外へ出ると、男女の別はあるのだが、前には戸がないし、横には腰までの壁があるだけのトイレ。一度だけ用を足したが、いつ人が来て見られるかと恥ずかしさで一杯であった。

教科書問題の最中の旅行であったが、人々は親切で、バッグが開いていれば、身ぶりで教えてくれる。中国の人々の温かさとおおらかさと、万里の長城の雄大さに、もう一度触れた。

(六ッ美南部小)

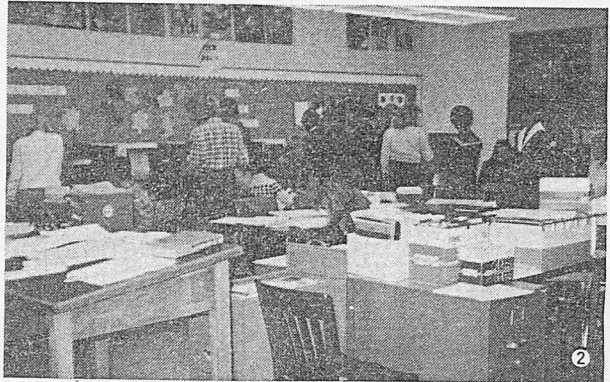
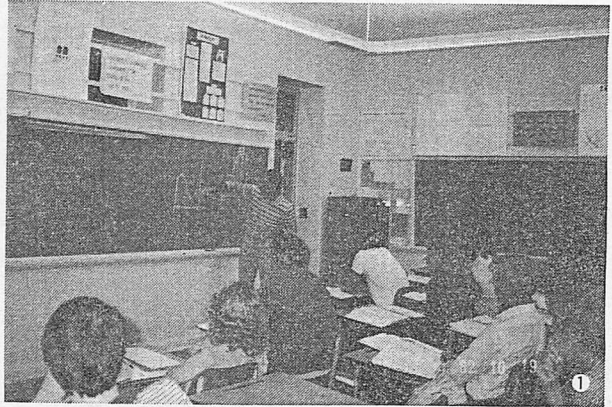
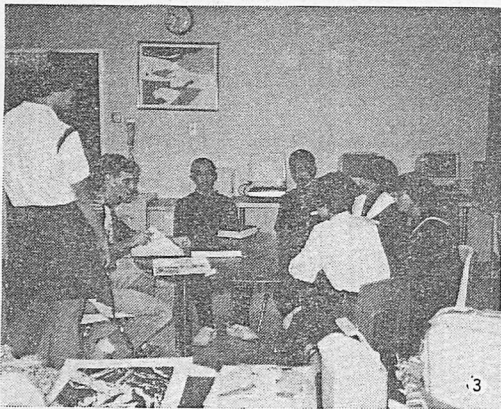


「中学生親善使節団」が派遣された。

昨年アメリカ訪問に続いて、本年もアメリカ西海岸都市への「中学生親善使節団」が派遣された。岡崎市中学生代表、大西雅也君（竜海中）中根正雄君（矢北中）長坂美佐枝さん（岩津中）太田葉子さん（六ツ美中）の四名は、杉本佳子先生（東海中）伊予田寿夫先生（市教委）とともに、十月十三日、東京を出発、ニューポートビーチ、サンタモニカ市内の学校や家庭を訪問し、親善交流を深めた。

アメリカ

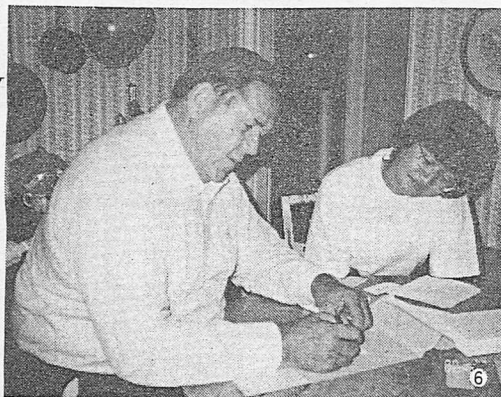
中学生の親善使節③



- ① ニューポート・ハーバー高校での数学の授業。
- ② 同高校での進路指導の授業。
- ③ サンタモニカ高校で、学校新聞の記者からインタビューを受ける。
- ④ ニューポート・ハーバー高校で、英語のテスト問題を見せてもらう。
- ⑤ ロサンゼルス、メキシコ人街でのフィエスタ（祭）。
- ⑥ ホームステイでの楽しい団らん。
- ⑦ 可愛い双生児の赤ちゃんに思わず、「オー、フリテイ」。
- ⑧ ニューポート・ハーバー高校での昼食。
- ⑨ ホームステイでの合同夕食会。楽しいパンフキン（かぼちゃ）パーティー。

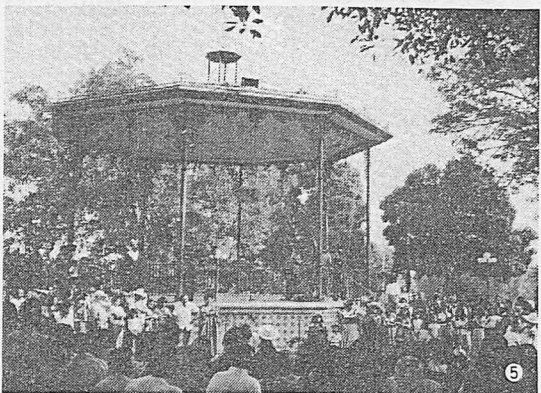
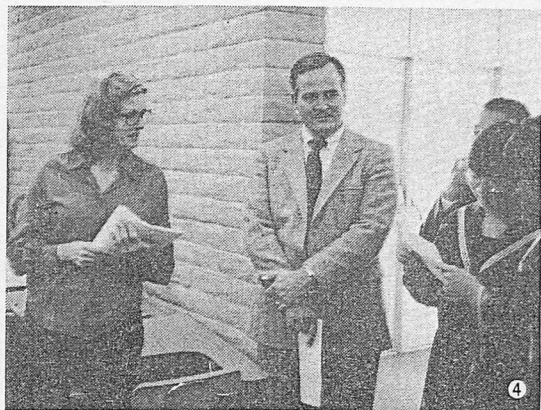
●高層ビルの建ち並ぶサンフランシスコを一步出ると、広いフリーウェイの世界で、周りは広い畑と牧草地だった。どこまでも限りなく続く道路とアーモンド畑、人なつっこい動物たち。ヨセミテではリスがそばに来たり、自転車で走り回ったり、大自然の中で楽しく遊んだ。こんな広い土地やすばらしい自然がともうらやましく思えた。
(長坂美佐枝)

●家へ着くと、娘さんがいて親切にしてくれたので、すぐ仲良しになった。おみやげを渡しながら、わたしが身ぶり手ぶりを交え、下手な英語で話しても熱心に聞いてくれたのがうれしかった。海辺へ遊びに行つて家族といっしょに遊んでいたら、本当の親子みたいで外国にいる気がしなくなった。
(太田葉子)



●すごく明るくて優しいアメリカの生徒たちの心の広さに触れることができた。彼らの心は日本の学生と違って、勉強に追いまわされているようにはすこしもみえない。みんなそれぞれ将来自分に必要なことを学校で習っているのである。日本人のほくからみて、うらやましく思えるほどであった。
(中根正雄)

●サンフランシスコは、碁盤の目のように敷きられた坂の多い街だった。私たちの想像する芝生に囲まれた白い家はあまり見当らず、ほとんどの家が四角い形で隣りとの隙間もないくらい坂道の両側にぎっしり立ち並んでいた。郊外には立派な家が連なり、アメリカは貧富の差が大きいと思った。
(大西雅也)



有志研修

連尺小 森下 一義

昨年のちょうど今ごろ課外クラブの指導を終え、職員室にいと、

「みんなで、お茶でも飲みに行かない。」

と、だれかの声。

「行こう。行こう。」

と、さっそく賛成の声。

学校の近くの喫茶店に、二十

代の先生ばかり集まり、雑談。

その中で、ふと、A先生が、

「今度、研究授業があるんだけど、指導案がうまく書けなくて困っているんだ。」



教育日々



と、ぼつり。

話してみれば、皆、同じような悩みを持っている。

「それじゃ、みんなで指導案を考えようよ。」

と、提案。皆、即賛成。

数日後会議室に集まり、教材

研究から始めた。

自分の経験や、今まで参観した

ことのある授業の事例をあげ

ながら、ああでもないこうでもない

と話しながら、だいたいの形

が決まったころ、

「こういう形の勉強会なら、こ

れからも続けていかないか。」

と、新たな提案。授業や学級経

営の悩みをこうして集まって話

していれば、解決の糸口でも見

つかるだろうとこの会が生まれ

た。

教材研究をしたり、指導案の

検討をしたりしながら、日ごろ

考えていたことを、仲間に聞いて

もらう。それまで、自分の考

えを相談する場もなく困ってい

たことが、話し合うことで解決されるようになった。そして、話し合うたびに、良い仲間に出会ったことをとても幸せに感じている。

昭和五十六年度には、理科室の備品・薬品の配置図も自分たちのために作った。

今年度も、教材研究や指導案

の検討を続け、夏休みには若狭

方面へも出かけた。

諸先輩の先生方から指導を受

けながら、学級通信・通知票等

この会で取り上げようとしてい

る問題は山積している。

コーヒーなど飲みながら仲間

と話している時間は、今の私に

とって、貴重で、しかも充実し

たときだと感じている。

合唱部哀歌

福岡中 水野 久美

四月に赴任し合唱部の顧問になった。

「みんな先生が来るの楽しみに

しているよ。」

ということばに気をよくして、

まずは聴かせてもらうことにし

た。新しい先生にいいところを

見せようとして一生懸命なのは

よくわかったが、こりゃ大変だ

と思った。

次の日から発声体操を始めた。床に寝、起き上がりながら泣く運動をしている時の声がおぼけのようだと先生からも生徒からも言われた。が、それは、職員室にも運動場にも声が響いている証拠である。また、合唱部の存在が認められたということでもあり嬉しかった。

発声体操と発声練習で練習時間のほとんどを費やす毎日が続

いた。生徒たちは初めのうちは

珍しさも手伝って、はりきって

練習に参加していたが、だんだ

ん真剣にやれない者が出てきた。

何度も三年生と「部活」につい

て話し合いをした。矢作中学校

にも連れて行き、練習を見せて

もらったりした。何とか合唱部

らしくなってきたころには一学

期も終わろうとしていた。

八月のコンクールが近づくにつれて、私の精神状態が穏やか

でなくなってきた。自分が毎日

している練習が「音楽」とはか

け離れたものであるような気が

してきたからだ。コンクールの

結果がおそろしかった。生徒の

「みじめな思いをするのはもう

いやだ」という悲痛な思いを感

じ取ったが、「コンクールなんて

出ない方がよかった」などとい

うことだけは言わせまいように

と私は自分に言い聞かせた。

コンクールは、どうせ良い成績はとれないと生徒も私も思っていたので、本番もあがらずに練習どおりに歌うことができた。

その結果が代表校になってしま

って……本当にうれしかった。

練習時、何度も音楽のことだ

け考えられたらどんなにいいだ

ろうと思った。どうしてこの子

たちはこうなんだろうと頭を悩

ませた。匙を投げようとしたこ

とも何度かあった。しかし、待

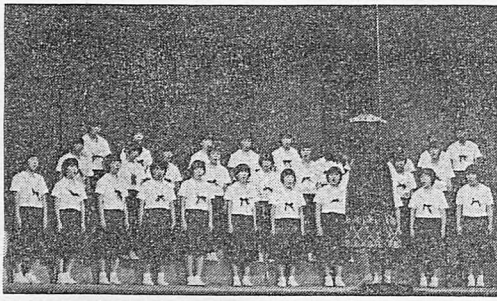
てよと思った。この子たちに「音

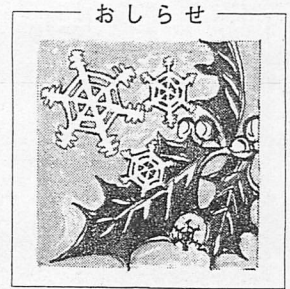
楽」を教えるのが私の役目

なのかも知れないと思った。

代表校になった時の彼女達の

顔を見て「よかった」と思った。





おしらせ

第九回 冬季研修会近づく

十二月二十五日、二十六日の二日間

「明日の教育を考える」をテーマに、第九回冬季研修会が、十二月二十五日、二十六日の二日間、岡崎市少年自然の家で行われる。

ことしは、四名の講師の先生をお招きし、研修の原点に迫る会となるよう充実した内容が企画されている。

講演
十二月二十五日(土)
「このごろ思うこと」 前岡崎市教育長、鈴木正弘先生
「教師論」 お茶の水女子大学教授、外山滋比古先生
十二月二十六日(日)
「基礎教育と哲学」 京都大学教授、上山春平先生
「地域社会と私」 豊田婦人ボランティアア会長、豊田壽子先生

【寄贈刊行物・資料等】

◆みあいの子 学校文集No.2 美合小学校

B5判

◆楽しい学校給食をめざして—素直に感謝できる子・温かい心の通う集団へ—羽根小学校 B5判 一一七頁

なお、第一日めの夜「現場の悩みを語り合うつどい」のテーマのもとに、参加者が親しく意見交換をする計画もある。

■各種表彰

- ・FBCクラフツフォーコンクール 細川小 県知事賞
- ・FBC花壇設計コンクール 福岡小 県知事賞
- ・花いっぱいコンクール 福岡小 毎日新聞社賞 六北小
- ・ソニー理科教育振興資金 藤川小 優秀賞
- ・優良賞 緑丘小、男川小、岩津中
- ・日本標準教育賞 優秀二位 福応節子(井田小)
- ・農業共済事業書写コンクール 農林水産大臣賞 中山中三年、成瀬まゆみ

昭和57年度秋季小中学校各種競技記録

第15回岡崎市中学校新人総合体育大会成績

10月16・17・24日

種目	性	順位		
		1位	2位	3位
軟式野球	男	城北	矢作	矢作北・南
ソフトボール	女	城北	甲山	南・岩津
ハンドボール	男	美川	六ツ美	葵・城北
	女	六ツ美	美川	葵・岩津
軟式庭球	男	岩津	東海	竜海・六ツ美
	女	城北	甲山	東海・六ツ美
卓球	男	河合	東海	矢作・葵
	女	東海	河合	六ツ美・常磐
バレーボール	男	竜海	六ツ美	岩津・葵
	女	福岡	矢作北	六ツ美・葵
バスケットボール	男	城北	矢作北	岩津・美川
	女	竜海	六ツ美	葵・美川
サッカー	男	南	附属	福岡・岩津
剣道	男	矢作	常磐	城北・六ツ美
	女	東海	甲山	六ツ美・附属
柔道	男	竜海	美川	
体操競技	男	六ツ美	竜海	甲山
	女	竜海	美川	葵
陸上競技	男	岩津	六ツ美	美川
	女	甲山	竜海	岩津

陸上競技個人記録

中学校

種目	男子			種目	女子		
	氏名	校名	記録		氏名	校名	記録
100M	井沢 晋	甲山	11"8	100M	佐野 順子	岩津	12"7
200M	坂 幸樹	福岡	25"9	200M	武田早代子	甲山	27"7
400M	和藤 勉	岩津	55"6新				
800M	藤井 伸治	矢作	2'13"5	800M	服部多美子	竜海	2'32"2
1500M	寺澤 隆志	南	4'36"5新				
3000M	犬塚 崇志	美川	9'45"1				
100MH				100MH	柴田 直美	美川	16"9
110MH	柴田 訓	美川	17"0				
走幅跳	和藤 勉	岩津	5m 62	走幅跳	磯村恵美子	葵	4m 78
走高跳	高木 裕司	六ツ美	1m 70	走高跳	桑子 朋恵	南	1m 45
棒高跳	川田 正幸	葵	2m 80				
砲丸投	井沢 晋	甲山	11m 25	砲丸投	山田 恵美	甲山	10m 20
400MR				400MR	甲山中学校		53"2
800MR	福岡中学校		1'39"4新				

陸上競技個人記録

新=大会新記録

小学校

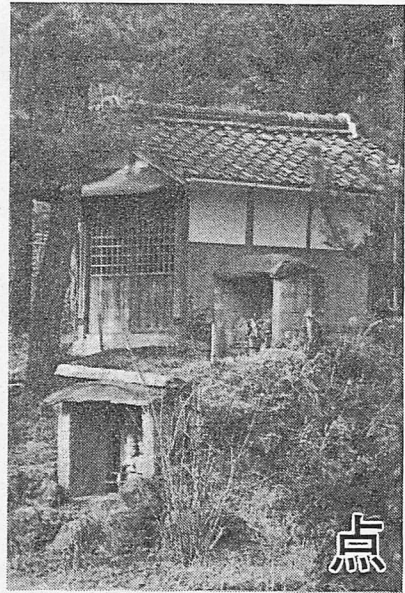
種目	男子			種目	女子		
	氏名	校名	記録		氏名	校名	記録
100M	磯谷 剛	六美北	13"0	100M	丸本 洋乃	本宿	13"5
60MH	小森 智氏	広幡	9"4	60MH	出井美知子	細川	9"4
1000M	尾崎 悟司	福岡	3'13"6				
400MR	広幡小学校		55"0	400MR	矢作南小学校		55"7新
低400MR	大樹寺小学校		59"0新	低400MR	大樹寺小学校		1'01"3新
走幅跳	神谷 誠	矢作西	4m 76	走幅跳	藤井 英子	矢作南	4m 27
走高跳	八畷 政己	広幡	1m 34	走高跳	渡辺 郁子	福岡	1m 25
ソフトボール投	黒野 俊樹	井田	65m 10	ソフトボール投	溝口真理子	矢作南	50m 40

新=大会新記録

第21回岡崎市小学校陸上競技大会成績

愛知県岡崎総合運動場 10月24日

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
男子総合	広幡	矢作西	大樹寺	城南	六美北	細川
女子総合	矢作南	細川	本宿	大樹寺	福岡	緑丘



点

所在地—岡崎市大井野町三月

石工さんの弘法様

下大井野と大井野の間あたりで川寄りの小高い所に、幅一間奥行一間半の小ぢんまりしたお堂が建っている。堂の中には三尺ほどの石彫弘法大師彩色座像が鎮座して見える。この弘法様は大井野の石屋さんたちが中心になっておまつりしていた。

今では常磐全体でも石を切り出している丁場はわずかになってしまったが、盛んな時大井野だけで四十余もあった。その石工さんたちはみな熱心な弘法さまの信者であったという。

明治の末ごろ、当地に強い靈気のある荒石が見つかったので、

それで弘法さまを彫り祀ったのが始まりという。堂はもともこの地にあったのではなく昭和九年、新道が通った時、少し上流から移築された。寄進目録によると、二十七名の石工さんがいりいろなものを出し合って建てたことがわかる。

堂の中で目につくものは、昭和二十八年、常磐村中の石工さんの運動会で優勝した時の記念写真。昔はこのように羽振りを利かした石工さんたちも安価な輸入石材には勝てず、ほとんどがサラリーマンに転職してしまいい、丁場も荒れてしまっている。

●カ
ツ
ト
美合小

大橋 智恵子

この本を

- 先師先人 竹之内静雄
新潮社 1,600円
- 男どき女どき 向田邦子
新潮社 900円
- 家康 最後の勝利者 土橋治重
成美堂 1,000円
- 徳川家臣団 網淵謙錠
—組織を支えたブレンたち—
講談社 1,000円
- しみる言葉 阿木翁助
講談社 1,200円
- ヒゲのウキスキー誕生す 川又一英
新潮社 1,100円
- 子どもの精神力 石田一宏
大月書店 400円
- 足のはたらきと 近藤四郎
子どもの成長 築地書館 980円
- 男の感情教育 諸井 薫
新潮社 980円
- 気くばりのすすめ 鈴木健二
講談社 980円

大寒、小寒。……庭の片隅で秋の名残りを惜しんでいた寒菊も、たびたびの霜に焼かれてみじめな姿になっている。昔はこもを巻き、破れ番傘をさしかけて、正月まで大切にしておいたというが、今ではそんな風情はなくなった。庭で育ったすてかほちや、冬至まで大切にしておこうか。



「シールノルック オーバーゼア」と叫ぶS氏の声に海上のブイを見ると、夥しい数のあざらしの群。海流の影響でこんな南の入り江にまで来るのだそうだ。海面を楽しそうに飛ぶカモメと白いヨット、やさしいジェントルマンに囲まれ、ご機嫌のわたし。ニューポートビーチは本当に素晴しかった。

「あと十分早く来い。一分遅刻だぞ、すみません。ゆうべ遅くまでやっていて、今朝目が覚めたら、七時半だったんで、びっくりして、何も食わずにとんで来たのですけど……」

「だめだ、遅刻は遅刻、そこに座っとれ。」
受験を目前に控え、必死にがんばる生徒の前に、心を鬼にする。

「好きこそ物の上手」とか「好きは上手の始まり」ということわざがある通り、何事でも好きであることが、その技術を向上させる根本である。

二期もあとわずか、自分の好きな教科はほとんど伸びていく。その反面嫌いな教科は手がつけない。教師が温い手を差し伸べるのを子供たちは待っている。